

普及活動情勢報告（令和4年9月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

鳥獣被害対策は地域ぐるみで行動！・・・集落環境調査で放棄果樹を知ろう・・・



8月30日、四万十市西土佐藤ノ川集落でサルの被害対策として集落環境調査を行いました。調査には地元住民11名と関係機関10名が参加し、集落を巡回しながら放棄果樹やヤブがある場所を集落地図に記入しました。

住民は、「収穫しない柿が多い」、「ここにクリを植えているとは知らなかった」と、放棄果樹の多さに驚いていました。

農業改良普及課は、放棄果樹毎の対処方法について助言を行いました。

今後は11月に放棄果樹伐採を計画しており、引き続き鳥獣被害対策について支援していきます。

イチゴ“おおきみ”生産拡大のために！

・・・おおきみ現地検討会・・・



8月16日、JA高知県中村支所おおきみ部会の現地検討会が開催され、生産者9名と関係機関3名が参加し、生産者の育苗ほ場を巡回しました。

“おおきみ”は、海外への輸出も行われ、国内外での需要が高まっていますが、他品種とは異なる栽培管理が必要なため、新たに“おおきみ”の栽培に取り組む生産者がいない状況です。

農業改良普及課は、病虫害指導や部会に対して生育調査への協力要請を行い、3ほ場で実施することになりました。

今後は、生育調査をもとに、栽培マニュアルを作成することで、“おおきみ”の新規栽培者を確保し、栽培面積の拡大に向けた支援を行っていきます。

上半期をふりかえろう！

・・・経営開始型受給者就農状況現地確認（四万十市中村地区）・・・



8月23日、9月5日、四万十市中村地区の農業次世代人材投資資金（経営開始型）受給者10名を対象に、支援チーム（農業改良普及課、市役所、JA）でほ場等を巡回し、令和4年の上半期実績や就農状況について確認しました。

受給者からは、肥料価格の高騰対策や病虫害防除について意見や質問がありました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、新規就農者の経営安定に向けた支援を継続していきます。

今年も豊作になるかな！？

・・・宿毛4Hクラブのジャガイモ定植・・・



9月9日、宿毛市二ノ宮のほ場で、宿毛4Hクラブによるジャガイモの定植が行われ、クラブ員9名、関係機関4名が参加しました。

この取組は、毎年二宮保育園園児を招待し、農作業を体験してもらうことで、食の大切さを学ぶ食農教育の一環として行っています。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により、クラブ員のみの定植となりました。

農業改良普及課は、定植に向けた土壌分析と施肥設計、定植の支援を行いました。

今後も、食農教育を通して子供たちが農業を学ぶ場を作れるように、宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。

飼料用米の増収を目指して！

・・・宗呂現地検討会の開催・・・



8月19日、土佐清水市宗呂で飼料用米の現地検討会が開催され、生産者12名、関係機関7名が参加しました。

昨年度の実証試験で収量が高かった“とよめき”について、今年度は施肥量、栽植密度についての実証ほを宗呂地区に設置しました。

農業改良普及課からは、生育調査の結果や“とよめき”の特性について説明を行いました。生産者からは、栽培上の注意点や採種についての質問がありました。

今後は収量調査の結果を踏まえて、栽培面積の拡大・飼料用米の増収へとつなげていきます。

作物づくりは土づくりから！

・・・第1回農業基礎講座（実践編）の開催・・・



8月30日、四万十市あぐりっこ研修センターで農業研修生や新規就農者を対象とした農業基礎講座（実践編）を開催し、5名が参加しました。

今回は、土壌と肥料について普及指導員が講義を行い、その後、受講生が実際に土壌を採取して、pH(酸性・塩基性)・ECなどを分析しました。

受講生からは「栽培に適した土壌にするためには施肥設計が重要であることが理解できた」との意見がありました。

農業基礎講座では、9月以降に「複式簿記」、「環境制御技術」などについての講座を計画しており、研修生や新規就農者の農業に関する知識習得を支援します。